

# 「口腔内環境評価を用いた大腿骨近位部骨折リスク予測モデルの構築 — 高齢整形外科入院患者における因果推論解析 —」について

## 1. 研究の対象

2024年4月1日から2025年3月31日に当科で大腿骨近位部骨折または変性疾患(変形性股関節症、変形性膝関節症)に対して手術を受けられた方

## 2. 研究目的・方法・研究期間

目的：口腔機能スコアや栄養指標などを用いて大腿骨近位部骨折の発生を予測できるか評価します。

方法：診療録(カルテ)から、年齢や性別、体格(身長・体重)などの基本情報に加えて、骨密度検査(骨の強さの指標)、血液検査から算出される栄養指標(PNI: Prognostic Nutritional Index、GNRI: Geriatric Nutritional Risk Index)、口腔機能スコア(お口の状態を評価する指標)、残存歯数、手術に関連した情報(手術方法や手術時間、出血量)などの情報を収集します。

これらの指標について、骨折を生じた方と生じていない方で比較を行い、各指標と骨折との関連を検討します。

なお、本研究は過去の診療情報を用いて行うものであり、新たに検査や治療を追加で行うことはありません。

研究期間：病院長の許可日から2031年3月31日までとします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時年齢、性別、体格(身長・体重、BMI)、既往歴、受傷機転、骨密度(DEXA法による大腿骨頸部Tスコア、大腿骨近位部Tスコア、腰椎Tスコア)、血液データ(白血球数、総リンパ球数、Hb、血小板数、PT、APTT、総蛋白、Alb、BUN、Cre、Ca、P、Na、K、Cl、AST、ALT、ALP、 $\gamma$ -GTP、LDH)、骨代謝マーカー:骨型アルカリホスファターゼや骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ)、栄養指標(PNI、GNRI)、口腔機能スコア(Oral Assessment Guide: OAG)、残存歯数、手術情報(術式、手術時間、術中出血量)

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：静岡県磐田市大久保 512-3、電話 0538-38-5000、整形外科 中嶋香児

研究責任者： 磐田市立総合病院 整形外科 中嶋香児